

～正の数と負の数のわり算～ めあて: ルールに従って, 符号が決められる

※わり算は下の2パターンに分かれる

同じ符号のわり算: $\oplus \div \oplus$, $\ominus \div \ominus$: $\oplus$ (絶対値÷絶対値) $\Rightarrow$ 符号は+になる異なる符号のわり算: $\oplus \div \ominus$, $\ominus \div \oplus$: $\ominus$ (絶対値÷絶対値) $\Rightarrow$ 符号は-になる

～たしかめよう!～

【例1】 $(-15) \div (+5)$ の計算をしましょう。

教科書p.36 例4を見よう

 $(-15) \div (+5)$ の計算では,

符号は, 負の数÷正の数で [-]

絶対値は, $15 \div 5 = 3$ だから, $(-15) \div (+5) = [-3]$ 同じ符号のときは, +
異なる符号のときは, -
と覚えておこう!

【例2】次の計算をしましょう。

教科書p.36 例4を見よう

(1) $(+24) \div (-4) = -(24 \div 4) = [-6]$

(2) $(-42) \div (-7) = [+] (42 \div 7) = [6]$

～やってみよう!!～

【問1】 $(-32) \div (+8)$ の計算をしましょう。 $(-32) \div (+8)$ の計算では,

符号は, 負の数÷正の数で [-]

絶対値は, $32 \div 8 = 4$ だから, $(-32) \div (+8) = [-4]$

【問2】次の計算をしましょう。

(1) $(+54) \div (-6) = -(54 \div 6) = [-9]$

(2) $(-27) \div (-9) = [+] (27 \div 9) = [3]$

～といてみよう!～

① 次の計算をしましょう。

(1) $(+8) \div (+4) = + (8 \div 4) = 2$

(2) $(-6) \div (+2) = - (6 \div 2) = -3$

(3) $(+18) \div (-3) = - (18 \div 3) = -6$

(4) $(-36) \div (-4) = + (36 \div 4) = 9$

(5) $(+10) \div (-16) = - (10 \div 16) = -\frac{10}{16} = -\frac{5}{8}$

(6) $(-5.6) \div (+0.7) = - (5.6 \div 0.7) = -8$

～ふりかえり・質問コーナー～

～問題集をやってみよう!～

p.